

令和3年度長崎県剣道連盟春季居合道段位審査及び講習会報告

令和3年4月4日（日）諫早市小野体育館において春季長崎県居合道段位審査会及び講習会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策のために春の講習会及び段位審査会、長崎県居合道段別選手権大会が中止となりました。昨年10月に開催された段位審査会引き続き、今回、段位審査会を開催することができたことは喜ばしいことでした。

今回の新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに沿って実施されました。段位審査会を前に審査員長の剣道範士八段佐藤信秀理事より審査を受審するにあたっての挨拶がありました。審査員はシールド及びマスク着用、受審査者はマスク着用での審査会となりました。段位審査会後には剣道範士八段佐藤信秀理事より、川邊一郎居合道教士七段に全剣連剣道有功賞の授与がありました。

<昇段審査>

今回の昇段審査は午前10:00より初段から五段まで実施されました。全日本剣道連盟居合解説書に定める審判・審査上の着眼点をもとに厳選な審査が行われました。

審査結果は初段1名、二段1名、三段2名、四段2名、五段1名、合計受審者7名合格7名合格率100%でした。審査会後に実技と学科合格者の発表が行なわれ、講評を剣道範士八段佐藤信秀剣道理事より、受審者全員に向けてありました。今回の昇段審査は居合道手帳の講習会特典が考慮され、居合道審査（初段～五段）筆記試験の一部免除が実施されました。また一週間前に開催された春季居合道講習会で指導されたことが確実に身につけていることが感じられました。

<居合道講習会>

午後からの講習会は居合道教士七段高木志伸居合道部長より、剣道講話があり、午前中の段位審査会での留意点や基礎基本を重点に説明、解説があり、その後、居合道教士七段月見一博居合道副部長より講習会の説明がありました。その後は段外から六段まで各段に別れ、七段の先生方が指導にあたりました。講習生はそれぞれが目的を持って先生方の指導を受けていました。講習会参加者は段外0名、初段2名、二段1名

三段3名、四段5名、五段11名、六段4名、七段12名、合計38名が参加しました。

1	初段	Pavkov,Mark	葉遊会（佐世保市）
2	二段	瀨本海洋	剣倫会（長崎市）
3	三段	天野秀明	遊道会（長崎市）
4	三段	谷口 啓	神伝会（諫早市）
5	四段	吉嶺みゆき	生武館（大村市）
6	四段	中野武士	生武館（大村市）
7	五段	敷山哲壽	修道塾（西彼杵郡長与町）

指定技

【初段～三段】

①一本目、前②二本目、後③三本目 受流 ④四本目、柄当て⑤5本目、袈裟斬

【四段～五段】

①古流の技、②四本目、柄当て③6本目、諸手突き④8本目顔面当て、⑤十本目、四方斬り



新型コロナウイルス感染拡大対策の審査会



居合道四段審査 6本目、諸手突き(血振り)



学科試験は30分で回答をする。外国の方は英語での回答でも可能



新型コロナウイルス感染拡大対策の分散指導での受講



全日本剣道連盟剣道有効賞を授与する
川邊一郎居合道教士七段



右 佐藤信秀剣道範士、中央 川邊一郎居合道教士
左 高木志伸 居合道部長